

## 西多摩衛生組合 ごみ焼却施設の臭気対策について

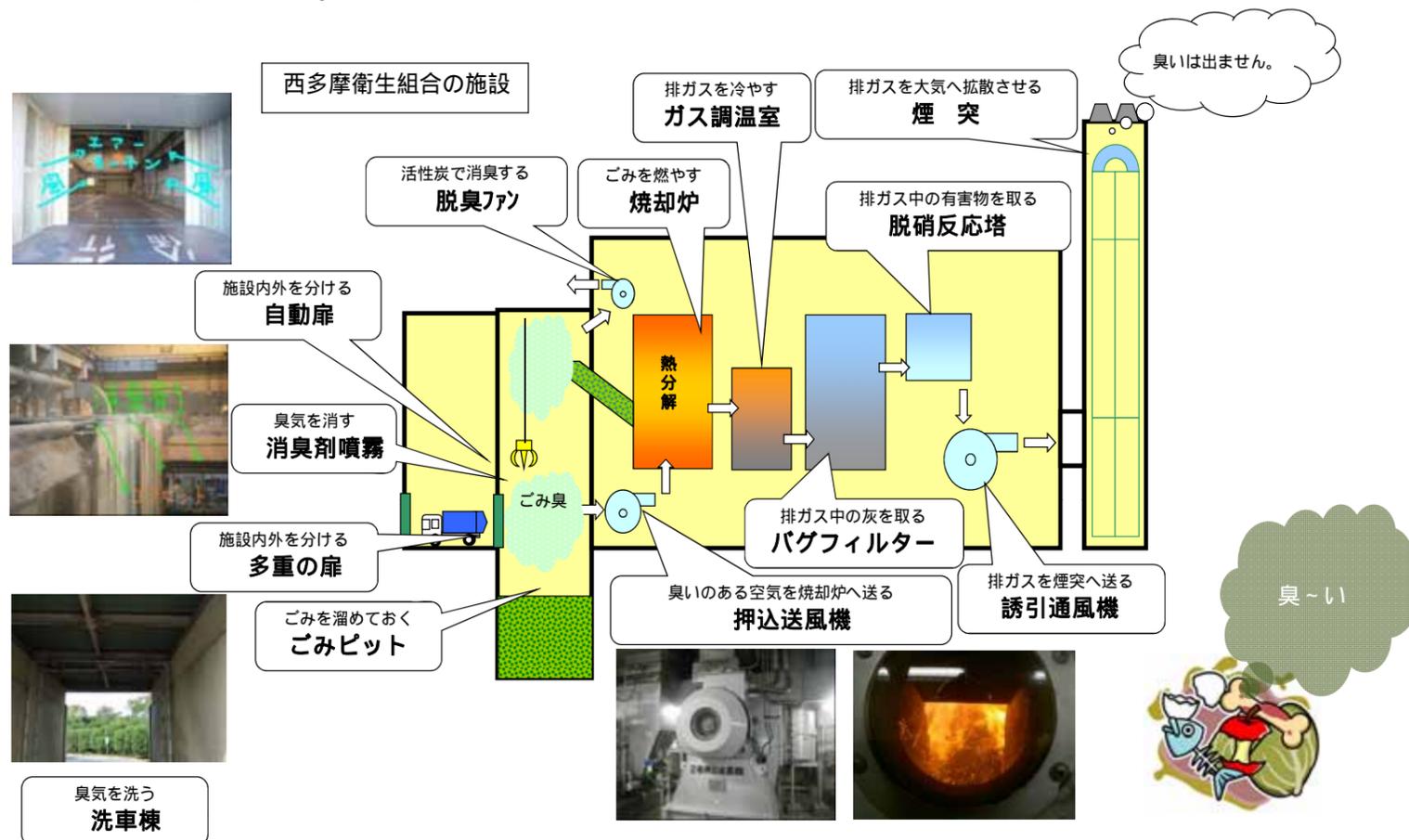
西多摩衛生組合では、施設の中の臭気が外へ出ないように様々な工夫がされています。

直接燃焼法	約600以上で臭気を燃焼させることにより、臭気成分（表参照）を酸化分解する方法です。
（施設内にある臭いの付いた空気を焼却炉へ送り、ごみと一緒に燃やしています）	（1）施設にある焼却炉は、約900 という高温度ですので、臭気成分はほぼ完全に酸化分解されます。
	（2）酸化分解後は、窒素酸化物になります。
	（3）窒素酸化物は、脱硝反応塔の触媒効果で分解・除去されます。
	（4）最終的に、水（水蒸気）と窒素に分解されて煙突から排出されます。
脱臭装置	臭いの付いた空気を活性炭により、臭いを取っています。
消臭剤噴霧	臭いの付いた空気を消臭剤により、臭いを消しています。
エアカーテン設置	施設と外部の間の自動扉が開くと空気の流れを作り、中の空気が外に出ないようにしています。
多重扉の設置	臭いのある部屋には、何重にも扉をつけています。
洗車棟設置	収集車両は、洗車してから施設を出ます。
負圧効果	臭いのある空気を燃焼用の空気として利用しています。したがって、臭いのある部屋は、たえず外部の空気を吸い込んでいる状態（負圧状態）となっています。
臭気パトロール	施設の敷地境界線5地点を、朝・昼・午後・夜 4回/日実施、施設周辺13地点を、1回/月実施しています。 （環境対策についての「西多摩衛生組合周辺の臭気パトロール測定結果」参照。）
環境調査の実施	施設の敷地境界線における臭気・悪臭物質の測定を定期的に行っています。 （環境データ・資料の「臭気濃度測定結果」参照。）

以上の様なことから、ごみの焼却に伴う臭気は煙突からの排ガスに混じり施設周辺にたどようようなことはありませんので、ご安心下さい。

下図は、施設内を簡単に示した絵です。

溜められたごみは、焼却炉で燃やされた後、冷却されたり、灰を取り除いたり、有害物を取り除いたりした後に、煙突から排ガスとして排出されます。煙突から排出された排ガスは空気中に拡がりながら薄められていくこととなります。



また、西多摩衛生組合では、地元（羽村市・瑞穂町）の対策協議会との間に公害防止協定を締結し、周辺の環境に配慮するため定期的に施設周辺の臭気の測定や煙突からの排ガスの測定、また周辺の大気（空気）の調査等も行っています。

（臭気の測定結果については、西多摩衛生組合ホームページ「環境データ」、「環境対策について」をご参照ください。）

なお、今後も臭気等お気付きの点がありました場合、その時点におけます諸条件（風向や焼却状況等）からの原因究明等も可能ですので、ご連絡いただければ幸いです。

西多摩衛生組合環境センターの焼却温度は、800度以上であるため、下記の表に記載されている臭気成分は燃えてしまいます。また、ごみ焼却施設から出る臭気成分のうち最も高い発火温度で651度（アンモニア）です。したがって、ごみ焼却に伴う臭気は煙突から出ることはありません。



### 代表的な臭気成分

国際化学物質安全性カード（ICSC） 2012.6.27更新

臭気成分		ごみ臭	糞尿臭	食品臭	汗・体臭	薬品臭	タバコ臭	甘臭	発火（ ）
窒素化合物	アミン類	アンモニア							651
		トリメチルアミン							190
		ジメチルアミン							400
		メチルアミン							430
		エチルアミン							385
硫黄化合物	硫化水素								260
	メチルメルカプタン								299
	エチルメルカプタン								299
	硫化メチル								300
	二硫化メチル								300
	ジメチルサルファイド								205
低脂肪酸類	酢酸								485
	プロピオン酸								485
	イソ酪酸								481
	ノルマル酪酸（ 6 ）								443
	イソ吉草酸（ 7 ）								440
	ノルマル吉草酸（ 7 ）								375
芳香族炭化水素	ベンゼン								498
	トルエン								480
	スチレン								490
	キシレン（ 5 ）								463
	フェノール								715
	クレゾール（ 5 ）								555
アルデヒド類	ホルムアルデヒド								430
	アセトアルデヒド								185
	プロピオンアルデヒド								207
	アクロレイン								234
	イソブチルアルデヒド								196
	イソバレルアルデヒド								240
	ノルマルブチルアルデヒド（ 7 ）								230
	ノルマルバレルアルデヒド								222
エステル類	酢酸メチル								455
	酢酸エチル								427
	アクリル酸メチル								468
ケトン類	アセトン								465
	メチルエチルケトン								505
	メチルイソブチルケトン								460
アルコール類	エチルアルコール								363
	メチルアルコール								464
	イソブタノール								415

- 1：  特定悪臭物質です。（22物質）
- 2：  該当する臭気成分です。
- 3：  ごみ焼却施設の主な臭気成分とされています。
- 4：  4大悪臭物質と呼ばれています。
- 5： 「オルト（ ）基」「メタ（m）基」「パラ（p）基」の3種類が存在しているため、代表として「オルト基」の成分を記載しています。
- 6： データが無い場合、参考値として「安全衛生情報センター」の数値を採用しています。
- 7： データが無い場合、参考値として「製品安全データシート」の数値を採用しています。